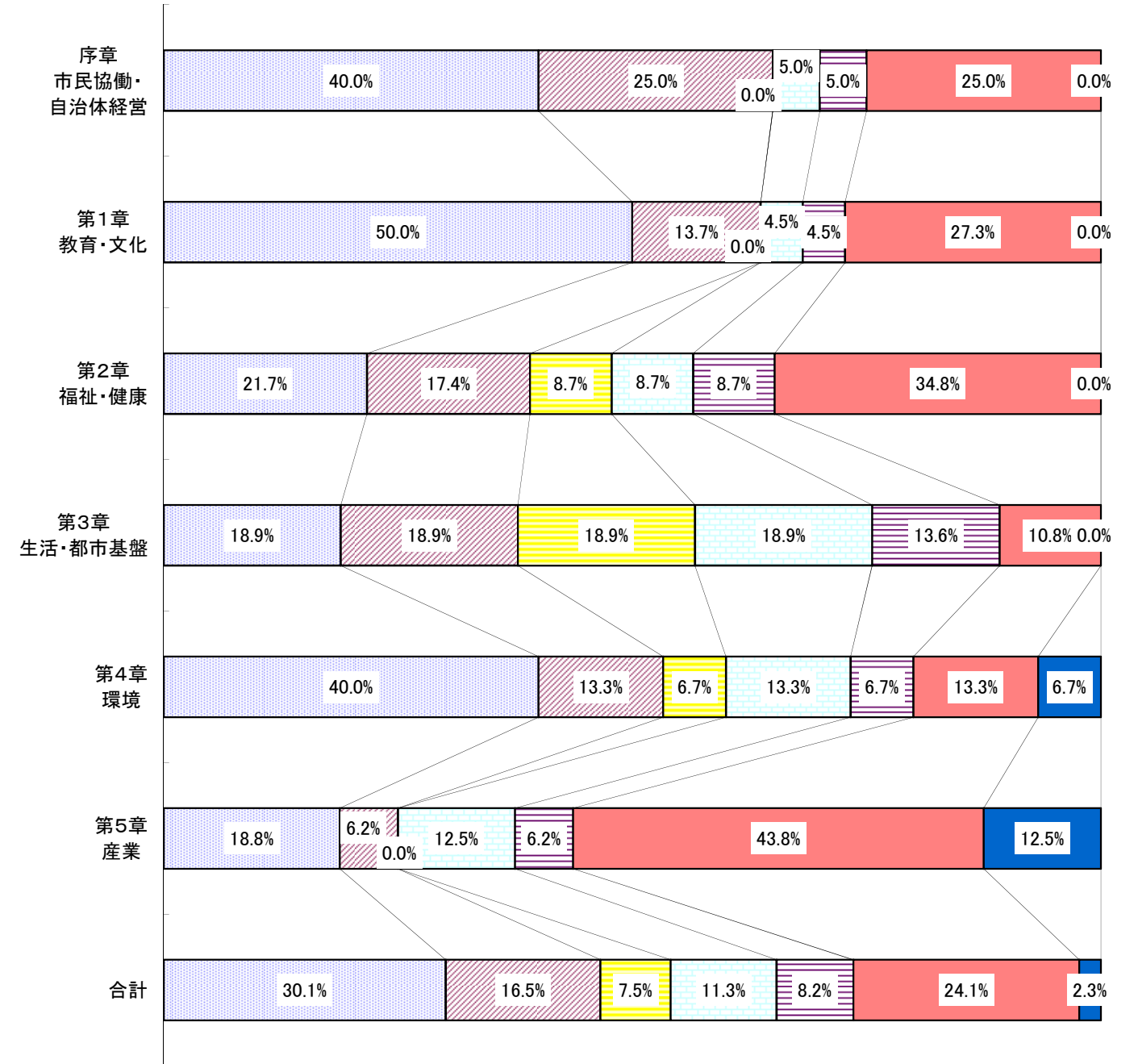


基本施策の目標達成度

			AA	A	B	C	D	E	F
序章	自治体協働・自治体経営	20項目	8	5	0	1	1	5	0
			40.0%	25.0%	0.0%	5.0%	5.0%	25.0%	0.0%
第1章	教育・文化	22項目	11	3	0	1	1	6	0
			50.0%	13.7%	0.0%	4.5%	4.5%	27.3%	0.0%
第2章	福祉・健康	23項目	5	4	2	2	2	8	0
			21.7%	17.4%	8.7%	8.7%	8.7%	34.8%	0.0%
第3章	都市生活・都市基盤	37項目	7	7	7	7	5	4	0
			18.9%	18.9%	18.9%	18.9%	13.6%	10.8%	0.0%
第4章	環境	15項目	6	2	1	2	1	2	1
			40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%
第5章	産業	16項目	3	1	0	2	1	7	2
			18.8%	6.2%	0.0%	12.5%	6.2%	43.8%	12.5%
合計	項目数	項目数	40	22	10	15	11	32	3
		割合	30.1%	16.5%	7.5%	11.3%	8.2%	24.1%	2.3%

目標達成度別目標数の割合



※達成度指標

AA: 100%以上	A: 70%以上100%未満	B: 50%以上70%未満	C: 30%以上50%未満
D: 30%未満	E: 基準値を下回るもの	F: その他	

達成度は、「(実績値－基準値) / (目標値－基準値)」にて算出しており、概ね計画どおりに進捗した施策(AA、A)は全体の46.6%、計画よりも遅れてはいるが基準年に比べ確実に進捗している施策(B、C)が18.8%となっており、合計65.4%となっている。

進捗が芳しくない施策(D)は8.2%、実績値が基準値を下回る施策(E)は24.1%あった。(F評価は統計年度等の関係で現時点で評価指標の把握が出来ていないもの。)

本評価は平成26年度途中に実施された実績値の把握による評価であり、目標値は、五カ年の計画年度の最終年度にあたる平成27年度終了時に達成することを想定し設定しているため、最終的な達成度については改善が見込まれる。

なお、市民意識に関わるものや市民の参加に関わるもの(健診の受診やノーマイカーデーへの参加者等)、高齢化やモータリゼーション(自動車社会化)の進展など社会変化に伴うもの(要支援・要介護率の低下、バス利用者数)、農・商・工の振興に関わるものなどについて達成度の低いものが多いことから、社会情勢の変化に柔軟に対応できる施策が必要と考えられる。

また、生涯教育、福祉、協働社会構築、環境などの面で、これまで以上に市民の共感を得るため、より一層市民に「伝わる」働きかけが重要である。

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	序章 構想実現のための共通の視点	担当課	政策企画課/広報課/人事課 /行政管理課/情報政策課/ 市民窓口サービス課/庶務 課/財政課/契約検査課/管 財課/地域振興戦略部/市民 協働推進室/市民活動推進 課/国際交流課/生涯学習文 化課/中央公民館/子ども家 庭課
----	---------------------	-----	--

政策の概要	国や県から権限と責任が移譲され、これまで以上に地域の特性に応じたまちづくりが求められるようになってきました。そのため、行政だけではなく、市民・地域・事業者などとの協働、連携を推進する必要があります。長岡市においては、これまで市民力・地域力を活かしたまちづくりに取り組んできました。地域における様々な課題について各地域の個性を活かしながら一体感のある長岡市を創出します。
-------	--

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	達成度							
	AA	A	B	C	D	E	F	
市民との協働の推進	2	1	0	0	0	2	0	
市民満足度の高い自治体経営の推進	3	1	0	0	0	1	0	
地域情報化の推進	0	3	0	0	1	0	0	
男女共同参画の推進と人権の尊重	1	0	0	1	0	2	0	
多様な地域交流の推進	2	0	0	0	0	0	0	
合計	集計	8	5	0	1	1	5	0
	構成比	40.0%	25.0%	0.0%	5.0%	5.0%	25.0%	0.0%

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

これまでの成果	<p><市民との協働の推進><男女共同参画の推進と人権の尊重><多様な地域交流の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人は、中越地震後の設立数が47法人で全体の約8割を占めています。また、アオーレ長岡や市民協働センターのオープンにより、枠組みに捕われないNPOの自発的な活動が盛んに行われ、相談数や市民活動フェスタ参加団体も増加しています。また、協働によるまちづくりの理念を市民協働条例として制定しました。 ・よいた、中之島、おぐにの各コミュニティセンターを開設。市民力と地域力を活かした協働体制の基盤が整い、活動も活発化しています。生涯学習推進大学を開講し、地域のリーダーを養成したことが評価され、平成24年度に文部科学大臣から「優良公民館表彰」をうけました。 ・「男女共同参画社会基本条例」に基づく「第2次ながおか男女共同参画基本計画」を策定し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及とDV(ドメスティック・バイオレンス)の根絶に重点的に取り組んでいます。 ・姉妹・友好都市ホノルル市や首都圏在住の市出身者との交流が順調に増加しています(姉妹・友好都市などとの交流連携事業の参加者 平成21年度2,700人→直近三ヵ年の平均3,196人)。また、まちの案内やまちづくりの拠点として市民なども設置できる「まちの駅」設置を推進、現在63駅が登録しています。 <p><市民満足度の高い自治体経営の推進><地域情報化の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員数の削減、事務事業の見直し、未利用市有地の売却、市民力・地域力の活用などの効果により、実質公債費率も平成21年度の16.1%から平成25年度には13.6%へと低減し、目標値の18%未満を堅持することで、健全な財政状況を維持しています。 ・平成25年度に実施したまちづくりアンケート「市政全般に対する市民満足度」では、平成22年度に比べ8割以上の項目において、市民満足度の向上が見られます。 ・アオーレ長岡1階に総合窓口を開設し、市民に身近な手続きの窓口をワンフロアに集約しました。平日夜間や土日も開庁することで、市民の利便性を高めました。 ・市長への手紙やパブリックコメント等の広聴活動を通じて市民の声を広く受付し、市政に有効活用しました。 ・建設工事等の設計書について、簡易迅速な手続による情報提供の制度を整備することで、同設計書に係る情報公開請求等の件数は、約93%減少し、情報公開請求によらない簡易迅速な情報の入手を可能としました。 ・電子申請・届出及び公共施設予約については、対象手続や対象施設の拡大を図り、行政手続きのオンライン化が進みました。また市内全域で超高速ブロードバンド環境が平成26年12月に整いました。
---------	--

<p>今後の方向性</p>	<p>(市民との協働の推進)(男女共同参画の推進と人権の尊重)(多様な地域交流の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな地域づくりや人口減少・高齢社会下における担い手の不足などに対応するためには、地域活動、市民活動の充実や行政との協働などの重要性がより一層高くなります。 ・市民活動においては、参加者の固定化や年齢面などにおいて偏りが見られます。またコミュニティ推進組織のない支所地域もあります。このため、今後より幅広く多様な市民が参画できるよう取り組みを推進します。 ・男女共同参画や人権への関心が低い状況を改善し、誰もが個性と能力を十分に発揮できるよう取り組みます。 <p>(市民満足度の高い自治体経営の推進)(地域情報化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により税収の伸び悩みも懸念される中、今後も持続性のある財政基盤を維持していくことが必要です。 ・継続的な事業の見直しに加え、今後、多くの建物やインフラが改修や更新の時期を迎えることを踏まえ、これらの適正配置や有効活用に加え、効率的な維持管理の実現に向けて取り組みます。 ・技術の進展とともに個人番号制度など新しい制度の運用も始まります。 ・マイナンバー制度に対応したサービスの充実や事務の手続きの改定が必要になります。 ・ICTを含め、長岡市に立地する企業などの競争力を高める基盤づくりが今後も必要です。 ・情報や交通などの交流基盤の充実に加え、長岡市の魅力を全国や世界に知ってもらうためより一層情報発信力を強化します。
---------------	--

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
1	市民との協働の推進	市民活動の推進	市内に活動拠点を置くNPO法人を増やす(団体)	46	60	63	121%	AA
			NPOとの共催・委託・補助等の件数を増やす(件)	109	230	100	-	E
		コミュニティ活動の促進	コミュニティセンター利用者の年間延利用者数を増やす(人)	579,832	610,000	603,055	77%	A
			市民主体の地域づくり活動を活性化させる【地域コミュニティ事業補助金の申込み団体数】(団体)	24	30	14	-	E
		市内全11地域で地域間交流や連携を進める【越後長岡・ふる里物語で連携した地域数】(地域)	0	11	11	100%	AA	
2	市民満足度の高い自治体経営の推進	経営的視点に立った行財政改革の推進	身の回りの環境やサービスに対する市民満足度を高める【市政全般(各施策の平均)に対する市民満足度】(%)	61.3	65.0	63.9	70%	A
			安定した財政基盤の確立と効率的な財政運営を進める【実質公債費比率】(%)	16.1	18.0%未満を堅持	13.6	100%	AA
		公共サービスにおける民間の活用	指定管理者制度導入施設に対する指定管理業務評価「AA」の割合を高める(%)	29.7	35.0	40.0	194%	AA
		効率的・効果的な広域行政の推進と拠点都市機能の強化	長岡地域定住自立圏で構成市町と連携して新たに取り組む事業を増やす(事業)	20	25	18	-	E
		開かれた市政の推進	市民に提供・公開する市政情報を充実させる【ホームページに新たに掲載する項目の数】(件)	765	850	1212	526%	AA
3	地域情報化の推進	情報通信技術を活用した行政サービスの向上と効率化	申請・届出、公共サービスなど行政手続のオンライン化を進める。(件)	28	53	49	84%	A
			市のホームページへのアクセス数を増やす。(万件)	183	240	228	79%	A
			情報の機密性、完全性及び可用性を高める情報セキュリティ監査の実施件数を増やす。(件)	4	12	10	75%	A
		情報を利活用できる環境づくり	ケーブルテレビのサービスエリアを市内全11地域に拡大する。(地域)	9	11	9	0%	D
4	男女共同参画の推進と人権の尊重	男女共同参画の推進	男女が平等であると思う市民の割合を高める【社会全体】(%)	26.1	30.0	21.1	-	E
			政策方針決定過程への女性参画割合を高める【市の審議会・委員会などにおける女性の登用割合】(%)	25.1	30.0	27.2	43%	C
		人権の尊重・啓発活動の推進	人権問題に関心がある市民の割合を高める(%)	66.9	70.0	63.2	-	E
			社会全体の人権が守られていると思う市民の割合を高める(%)	67.9	70.0	70.8	138%	AA
5	多様な地域交流の推進	都市連携・地域交流とシティプロモーションの推進	多様な地域間の交流を推進し、交流人口の拡大を図る。【共通の地域資源を持つ地域や国内の姉妹・友好都市などとの交流連携事業の参加者数】(人)	- (2,700) H21参考	15,000 (3,000) 平均	9,589 (3,196) 平均	165% ※平均値比較	AA
			「越後長岡まちの駅」相互のネットワークを強化し、地域情報の発信力を高める【「まちの駅」としての活動数及び情報発信数】(件)	75	125	140	130%	AA

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	第1章 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現	担当課	政策企画課/庶務課/国際交流課/生涯学習文化課/スポーツ振興課/教育総務課/教育施設課/学務課/学校教育課/中央公民館/中央図書館/科学博物館/子ども家庭課/保育課
----	------------------------------	-----	--

政策の概要	長岡市は、「米百俵」の精神のもと、「人づくり」を柱に、多くの市民の知恵と力によって復興・発展を遂げてきたまちです。市内には、多様な地域の伝統や文化が息づき、歴史的・文化的資源が保存・継承されています。こうした背景を踏まえ、市民の知恵と力、地域の豊かな歴史・伝統・文化を活かし、将来を担う人材の育成や生涯を通して学ぶ機会の充実を図り、将来にわたって発展し続けるまちをめざします。
-------	--

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	方向性評価							
	AA	A	B	C	D	E	F	
子どもの自信と夢をはぐくみ豊かな心を育てるまち	5	2	0	0	0	1	0	
いつでも、どこでも、だれでも学べるまち	2	0	0	1	0	3	0	
豊かな歴史と多様な文化にふれあうまち	4	1	0	0	1	2	0	
合計	集計	11	3	0	1	1	6	0
	構成比	50.0%	13.7%	0.0%	4.5%	4.5%	27.3%	0.0%

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

これまでの成果	<p><やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進(熱中!感動!夢づくり教育の推進)> <安全・安心な教育環境の整備> ・やる気や学ぶ意欲を育む教育(「熱中!感動!夢づくり教育」)を推進し、「本物に触れる」「一流の指導者や講師から直接指導を受ける」ことにより、「授業がわかる」「学校が楽しい」と回答する割合を高めました(「学校に行くのは楽しい」小学生89.9%、中学生86.6%)。 ・「ようこそ『まちの先生』事業」やセーフティーパトロール、街頭育成活動、現場実習受入れなどにより、学校と地域との連携をすすめました。この結果、保護者や地域住民が授業や学校行事に参加する日数が大幅に増加しました(平成22年度 年14日→平成25年度 年35日)。 ・市立小・中・養護学校の校舎・屋内運動場の耐震補強を計画的に実施し、平成25年度末時点の耐震化率は94.5%まで進捗しており、平成27年度末には100%を達成する見込みです。</p> <p><市民主体の生涯学習の推進><スポーツ・レクリエーション活動の推進> ・平成23年に整備された「まちなかキャンパス長岡」での、まちなかカフェ、まちなか大学、まちなか大学院に加え、支所地域での出張カフェ講座、米百俵塾、市民プロデュース講座など、多彩な講座を開催しました。また科学博物館、馬高縄文館、公民館、図書館での各種講座の開催、市内3大学1高専との包括連携協定などにより、多様な生涯学習の場づくりを進めました。 ・市内中学・高校生の全国大会県予選成績の向上や指定管理者制度導入による施設利用者の増大、「東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進会議」の設置など、スポーツ・レクリエーション活動を推進しました。 ・市民が身近な場所で運動やスポーツを行う拠点となるコミュニティスポーツクラブを推進しました。</p> <p><歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進><主体的・創造的な文化芸術活動の振興> ・国登録文化財として登録された建物数の増加など、歴史的・文化的遺産の継承・活用を促進する一方で、青少年の海外派遣事業助成者を増加させるなど、国際理解も進めました。 ・戦災資料館の活動への理解が広がり、平和学習に訪れる青少年や市外からの来館者が増加しています。新たな情報や資料の提供も増え、長岡空襲の確実な語り継ぎが続けられています。 ・栃尾文化センターの積極的な事業展開などにより、文化施設の利用を促進しています。平成25年度の1年間の文化施設の利用件数は平成21年度比べ約1,000件増加した9,323件となっています。</p>
---------	---

<p>今後の方向性</p>	<p>(人口減少・高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や国境を越えた都市間競争が想定される中で、長岡市への理解と愛着を育むとともに、国際的に活躍することの出来る人材を育成することが必要です。 ・「熱中！感動！夢づくり教育」の理念を継承しつつ、「社会性とコミュニケーション能力」「ふるさと長岡への愛着や誇りを土台に社会に貢献できる資質・能力」「国際感覚」「ICTへの対応」などを育む教育が重要となります。また、学校への不登校を未然に防止するとともに、誰もが社会に参画できるよう教育体制を整えていく必要があります。 ・少子化・人口減少等を踏まえ、学校規模の適正化を図る必要があります。 ・学校統廃合については行政主導ではなく、保護者や地域の声を十分聞きながら進めていくという姿勢が市民から評価されています。 ・スポーツ・レクリエーションについては、保健施策等との連携を図りながら、裾野を広げていくことが求められます。 <p>(災害・インフラ老朽化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設については、児童生徒を守ると同時に地域の避難所ともなることから、耐震補強に加え、安全性を高める必要があります。 ・校舎等の耐震化は進捗している一方、全面的な老朽化対策が必要となると言われている建築後25年以上経過した学校施設も多くあり、限りある財源の中で計画的に、維持管理をしていく必要があります。 ・教育に加え、健康を保つ観点からも、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進することが求められます。 <p>(国内外の都市間競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の競争力を高めるために、「多様性を磨き上げ、深い固有性を獲得すれば、それは世界的な普遍性を持ち、日本の新しい成長エンジンになる(『国土のグランドデザイン2050』)」などにあるように、長岡らしさの再発見・創造・磨き上げとその国内外への発信が重要となります。 ・平成30年に「長岡開府400年」を控えており、歴史・文化を始めとした長岡の個性の再確認とその国内外への発信が重要となります。
---------------	---

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度		
1	子どもの自信と夢をはぐくみ豊かな心を育てるまち	やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進(熱中！感動！夢づくり教育の推進)	芸術家と子どもたちが気軽に交流しながら、生の芸術にふれる機会を提供する。【ふれ愛芸術体験事業の開催校数】(校)	15	20	23	160%	AA		
			地域に開かれた学校にする取り組みを、各学校で実施する。【保護者や地域住民が、授業又は学校行事の参加する年間の平均日数】(日)	14	20	35	350%	AA		
		子どもサポート体制の充実	問題行動、いじめ・不登校、児童虐待などについて、関係機関などの連携による予防・対応を推進する。【不登校児童生徒発生率】(%)	小学校 0.26% 中学校 2.19%	0.20%	2.00%	0.34%	2.54%	—	E
			一人ひとりの進路実現に向けて総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数を増やす。【総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数】(か所)	29	40	63	309%	AA		
		青少年の健全育成活動の推進	青少年たちが、身近な地域の伝統芸能や歴史、文化、自然などにふれあう機会を増やす。【子どもふるさとふれあい広場事業申請件数】(件)	145	170	164	76%	A		
			街頭育成活動に参加する育成員の参加率を高める。(%)	77.1	80.0	83.5	221%	AA		
安全・安心な教育環境の整備	「地域の子どもは地域で守る」ことのできる体制を維持し、取り組みを充実させる。【小学校区単位の「セーフティパトロール」団体への登録者数】(人)	6,000	7,200	8,008	167%	AA				
	市立小・中・養護学校の校舎・屋内運動場の耐震化率を高める。(%)	77	100	94.5	76%	A				
いつでも、どこでも、だれでも学べるまち	市民主体の生涯学習の推進	生涯学習によるまちづくりを推進するため、生涯学習をする人を増やす。【1年間に生涯学習をした人の割合】(%)	35.9	45.0	24.9	—	E			
		生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などを家庭・職場以外で役立たせる人を増やす。【生涯学習による成果を地域などで活用した人の割合】(%)	13.0	25.0	8.7	—	E			
		市民が市内の図書館を利用する機会を増やす。【市民1人当たり年間図書館資料貸出数】(点(冊))	6.4	6.7	6.2	—	E			
	スポーツ・レクリエーション活動の推進	市民が身近な場所で運動やスポーツを行う拠点づくりを進める。【市内のスポーツ教室・クラブ開設数】(クラブ)	787	900	837	44%	C			
		ジュニア期からの選手育成強化システムの確立により、競技選手の育成・強化を推進する。【市内の中学・高校生の全国大会県予選においてベスト4に進出した延べ選手数】(人)	- (431) 平均	2,250 (450) 平均	1,865 (466) 平均	184%	※平均値比較 AA			
		スポーツ・レクリエーション施設の利用者の増加や効率のよい管理運営を進める。【施設管理に指定管理者制度を導入した施設数】(施設)	26	48	48	100%	AA			
3	豊かな歴史と多様な文化にふれあうまち	歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進	歴史的価値が高い建造物の実態把握・保存を進め、教育や地域振興に活用できる機会を増やす。【市内に所存する歴史的価値が高い建造物の国登録文化財登録件数】(件)	21	26	31	200%	AA		
			地域に伝わる民俗芸能の適切な保存に努め、後世に伝承される機会を増やす。【記録保存用にビデオ収録した民俗芸能の演目数】(演目)	186	201	190	27%	D		
		非核平和や空襲体験を語り継ぐことの重要性に対する市民の理解を深める。【震災資料館年間入館者数】(人)	- (17,358)	90,000 (18,000) 平均	56,532 (18,844) 平均	231%	※平均値比較 AA			
	主体的・創造的な文化芸術活動の振興	文化芸術にふれる機会を充実し、芸術作品を鑑賞する市民を増やす。【1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合】(%)	61.9	65.0	58.3	—	E			
		主体的・創造的な文化芸術活動を行う市民を増やす。【1年間に市内の主な文化施設を利用した件数(営利目的の利用を除く)】(件)	8,398	8,600	9,323	458%	AA			

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
3	豊かな歴史と多様な文化にふれあうまち	国際理解の推進と多文化共生社会の実現	青少年が世界にふれる機会を増やし、国際理解の推進を図る。【「世界が先生—国際人育成事業—」の受講者数】(人)	- (700) H21参考	4,000 (800) 平均	2,400 (627) 平均	-	E
			市民協働による国際交流イベントなどを実施又は支援し、交流事業に参加する市民を増やす。【地球広場で実施されたイベント参加者数(日本語講座・にほんご広場・他団体主催イベントも含む)】(人)	- (5,446) H21参考	32,000 (6,400) 平均	24,219 (6,323) 平均	92% ※平均値比較	A
			より多くの青少年に海外体験の機会を与え、市民レベルでの国際交流の推進を図る。【青少年団体の海外派遣事業助成者数】(人)	- (73) H22参考	400 (80) 平均	338 (88) 平均	214% ※平均値比較	AA
AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他								

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	第2章 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現	担当課	福祉総務課/福祉課/生活支援課/介護保険課/長寿はつらつ課/健康課/住宅施設課/教育施設課/子ども家庭課/保育課
----	------------------------------	-----	--

政策の概要	長岡市は多様性のある地域を市内に抱え、地域の特性に配慮した福祉サービスが求められています。地域における支えあいを推進し、高齢者や障害者の生活を見守る環境や、子育てを応援する環境を整備し、市民が健康な生活を送れるよう日常生活における自主的な取り組みを支援します。これらを通して、誰もが生きがいを持って、互いに思いやりながら、生涯健やかに暮らせるまちをめざし、地域包括ケアシステムの構築を推進します。
-------	--

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	方向性評価							
	AA	A	B	C	D	E	F	
高齢者が生きがいを持って暮らせるまち	0	2	1	0	0	1	0	
障害者が自立して暮らせるまち	1	1	0	1	0	1	0	
子どもの成長をともに喜び子育てを応援するまち	2	1	1	0	0	0	0	
生涯を通して健やかに暮らせるまち	1	0	0	0	1	3	0	
地域で支え合う福祉のまち	1	0	0	1	1	3	0	
合計	集計	5	4	2	2	2	8	0
	構成比	21.7%	17.4%	8.7%	8.7%	8.7%	34.8%	0.0%

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

これまでの成果	<p><介護保険制度の推進><高齢者や介護者への支援体制の充実> <介護予防と生きがいづくりの推進><障害者への支援の充実><子育てを応援する環境の整備> <子育て支援サービスの拡充><健康づくりへの支援の強化・推進></p> <p>・地域福祉を着実に浸透させました。介護(施設やボランティア団体など)や健康づくり(地区健康づくり井戸端会議など)、障害者支援(相談支援事業やグループホーム・ケアホームなど)、子育て支援(子育ての駅など)の利用者数や相談・開催件数が増加しています。</p> <p>地域密着型介護老人福祉施設・特定施設:平成21年度 6施設 → 平成26年度 11施設 認知症対応型共同生活介護・通所介護施設:平成21年度 35施設 → 平成26年度 53施設 地域福祉連携会議取り組み回数:平成21年度 247回 → 平成25年度 396回 介護予防サークル参加者:平成21年度 5,850人 → 平成26年度 6,190人 障害者相談支援事業相談件数:平成21年度 40,637件 → 平成25年度 57,577件 グループホーム・ケアホーム利用者数:平成21年度 190人 → 平成25年度 282人 子育ての駅利用登録世帯数:平成21年度 10,292世帯 → 平成26年度 20,277世帯 子育て相談員が出向いて実施した相談回数:平成21年度 166回 → 平成25年度 251回 保育サービスに対する満足度:平成21年度 75.0% → 平成25年度 84.1% 地区健康づくり井戸端会議開催地域数:平成21年度 23地区 → 平成25年度 33地区</p> <p>・地域包括支援センターと連携した「シルバーささえ隊」、保育士のいる公園「てくてく」などの「子育ての駅」、多世代健康づくり情報発信拠点「タニタカフェ」など、全国に先駆けた取り組みを長岡市から生みだしています。</p>
---------	---

今後の方向性	<p>(人口減少・高齢化)(国内外の都市間競争)</p> <p>・国のアンケートにおいて、移住に際して重視するポイントとして、「医療・福祉」が上位にランキングしているなど、安心して健康で暮らし続けることが出来る生活環境づくりは、住民への基本的なサービスであるとともに、人口の維持・定着にとっても重要な要素となります。また、人口減少が著しい地区において、持続的な福祉サービスをいかに提供し続けていくかが課題となります。</p> <p>・長岡市では地域で支えあう体制づくりを整えましたが、要支援・要介護認定者割合の伸びの抑制や検診受診率の向上、障害者、生活保護受給者、生活困窮者、母子・父子家庭への雇用・就労支援などの施策効果については、次期総合計画の課題となります。</p> <p>・これまで培った地域での支援体制を土台とし、きめ細かな情報交換やコーディネートを継続することで、成果へとつなげます。例えば子育て支援については既に、地域施設の充実に加え出張相談などを行うことで、利用率やサービスへの満足度の向上につなげています。</p>
--------	--

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱	基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
1 高齢者が生きがいを持って暮らせるまち	介護保険制度の推進	住み慣れた自宅や地域での暮らしを継続できるよう、日常生活圏域の地域特性を考慮した地域密着型サービスの計画的な整備を進める。【市が指定した(みなし指定を含む)事業所数】※()の数字は定員数	夜間対応型訪問介護:1(150) 小規模多機能型居宅介護:8(200) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護:5(122) 地域密着型特定施設入居者生活介護:1(29) 認知症対応型共同生活介護:21(310) 認知症対応型通所介護:14(147)	夜間対応型訪問介護:1(150) 小規模多機能型居宅介護:19(475) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護:18(455) 地域密着型特定施設入居者生活介護:5(145) 認知症対応型共同生活介護:32(463) 認知症対応型通所介護:15(156)	夜間対応型訪問介護(定期巡回を含む):3(160) 小規模多機能型居宅介護(複合型サービス含む):15(368) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護:9(215) 地域密着型特定施設入居者生活介護:2(58) 認知症対応型共同生活介護:30(436) 認知症対応型通所介護:23(182)	52%	B
	高齢者や介護者への支援体制の充実	高齢者や介護者を地域で支えるために、関係者の連携を深める。【地域福祉連携会議(個別・地域)の取組回数】(回)	247	400	396	97%	A
	介護予防と生きがいづくりの推進	介護を必要とする状態にならないための予防と、要支援・要介護状態の軽減・悪化防止を図る。【65歳以上高齢者人口に対する要支援1・2要介護1の割合】(%)	5.9	5.7	6.4	—	E
		介護予防に関する効果的な自主活動を育成・支援する。【介護予防サークル参加者数】(人)	5,850	6,240	6,190	87%	A
2 障害者が自立して暮らせるまち	障害者への支援の充実	障害者一人ひとりに合ったサービスをきめ細かく提供するために、相談支援事業を拡充させる。【相談支援事業の相談件数】(件)	40,637	50,000	57,577	181%	AA
		障害者の地域移行を促進するために、入所施設などからグループホーム・ケアホームへの利用を増やす。【グループホーム・ケアホームの利用者数】(人)	190	300	282	84%	A
	障害者の自立と社会参加の促進	障害者雇用数を増やす。【福祉施設を退所し、一般就労した者の数】(人)	11	32	18	33%	C
		スポーツ教室や芸術文化活動などの機会を提供し、社会参加する障害者数を増やす。【社会参加促進事業参加者数】(人)	1,300	1,800	845	—	E
3 子どもの成長をともに喜び子育てを応援するまち	子育てを応援する環境の整備	子育てを応援する世代を越えた交流や子育て支援の輪を広げる。【子育ての駅の利用登録世帯数(親子、サポーターなど)】(世帯)	10,292	20,000	20,277	103%	AA
		児童クラブを必要とする保護者が利用できる環境を整える。【児童クラブ数】(か所)	40	43	42	67%	B
	子育て支援サービスの拡充	気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境を充実させる。【親子が集う場所に相談員が出向いて実施した相談回数】(回)	166	200	251	250%	AA
		保育サービスに対する満足度を高める。(%)	75.0	85.0	84.1	91%	A
4 生涯を通して健やかに暮らせるまち	健康づくりへの支援の強化・推進	各地域で、住民が主体となった「地区健康づくり井戸端会議」を行う。【会議開催地域数】(地区)	23	30	33	143%	AA
		市民がより受診しやすい健診体制を整備することで、国民健康保険加入者の特定健康診査の受診率を高める。【受診率】(%)	34.7	35.2	34.7	0%	D
		市民がより受診しやすい健診体制を整備することで、胃がん検診の受診率を高める。【受診率】(%)	10.2	10.7	9.9	—	E

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
4	生涯を通して健やかに暮らせるまち	医療体制の充実	長岡市中越こども急患センターの周知に努め、子育て中の保護者の育児不安の解消を図るとともに、1日平均受診者数を増やすことにより二次病院への軽症患者の来院を減らし病院の負担を軽減する。(人)	17.6	20	13.7	—	E
			安定した量の血液を血液センターに供給するため、巡回献血1稼働当りの平均献血者を増やす。(人)	47.2	52	37	—	E
5	地域で支え合う福祉のまち	地域福祉を推進する体制の整備	地域福祉に関わるボランティア団体を増やし、地域との連携を進める【市内で活動しているボランティア団体数】(団体)	334	350	575	1506%	AA
			地域の特性に合わせた福祉サービスを提供するため、地域福祉に関わる個人ボランティアを増やす。【長岡市社会福祉協議会が行う、住民参加型在宅福祉サービスに協力するボランティア数】(人)	4,992	5,300	4,470	—	E
			ボランティアに関わる人材の量や質を拡充する。【ボランティア大学など関連講座の参加者数】(人)	313	350	330	46%	C
			福祉団体や市民が福祉活動に関わりやすいよう、複合的な福祉機能を持つ拠点を整備する。【総合福祉センターの整備数】(か所)	0	1	0	0%	D
		自立生活の支援	生活保護受給者の就労活動を促進する。【生活保護受給者の就労支援事業による就職率】(%)	80.0	90.0	72.3	—	E
			母子家庭の安定した就労を支援する。【児童扶養手当受給資格者数における一部支給者数の割合】(%)	48.5	50.0	48.1	—	E
AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他								

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	第3章 都市の活力と魅力にあふれ、 安全・安心で住みよいまちの実現	担当課	政策企画課/広報課/管財課/危機管理防災本部/原子力安全対策室/地域振興戦略部/市民協働推進室/市民活動推進課/市民課/福祉総務課/環境政策課/観光企画課/まつり振興課/都市計画課/交通政策課/都市開発課/住宅施設課/公園緑地課/中心市街地整備室/土木政策調整課/道路管理課/道路建設課/河川港湾課/下水道課/地域建設課/業務課/浄水課/管路課/総務課/警防課/教育施設課
----	--	-----	--

政策の概要	長岡市においては早期復興と被災の教訓を活かした「災害に強く安全・安心なまちづくり」が求められます。このため、安全性や快適性を重視し、誰もが暮らしやすい生活・都市基盤の整備・改善を進めます。また中越地域の中核都市として、都市の魅力や利便性を高めるとともに、各地域における固有の資源を活用しながら「地域らしさ価値の向上」を図り、市全体の求心性を高めます。
-------	---

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	方向性評価							
	AA	A	B	C	D	E	F	
市民が安全に安心して暮らせるまち	3	2	1	3	1	0	0	
活力を創出する交流基盤の充実したまち	1	2	1	1	1	1	0	
誰にでも優しく快適な住環境が整備されたまち	3	3	4	3	1	2	0	
個性と魅力ある都市空間を持つまち	0	0	1	0	2	1	0	
合計	集計	7	7	7	7	5	4	0
	構成比	18.9%	18.9%	18.9%	18.9%	13.6%	10.8%	0.0%

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

これまでの成果	<p><災害に強いまちづくりの推進> <災害情報の収集・伝達体制の整備></p> <p><市民防災力・地域防災力の強化> <防犯・交通安全対策、消費者保護支援の推進・強化></p> <p>・「日本一災害に強いまち」を目指し、新庁舎における常設の災害対策本部の設置、学校施設の耐震化推進、河川改修や市街地の雨水対策といった総合的な治山治水対策の実施などの取り組みを進めました。</p> <p>・(公財)山の暮らし再生機構などによる中山間地域の創造的復興支援や総合特区制度の活用、(公社)中越防災安全推進機構と連携した震災アーカイブス・メモリアルセンターの開設など、災害の教訓を全国に発信しました。</p> <p>・降雨情報やカメラ映像の公開により、住民が迅速且つ安全に河川情報等を取得可能となり、より適切な避難行動が実現するとともに、重要地点の現地情報取得が迅速化され、的確な災害対応が可能となりました。</p> <p>・自主防災会の結成促進(平成21年度88.6%→平成26年度92.0%)、中越市民防災安全士の育成(H21年度201人→H26年432人)、救急救命士の有資格者の増加(平成22年度58人→平成25年度68人)などにより、地域の防災力を高めました。</p> <p>・市民の安全・安心を高める取り組みを推進した結果、市内における交通事故件数(平成21年度1,128件→平成25年686件)や、消費者トラブル件数(平成21年度2,319件→平成25年度2,097件)が減少しました。</p> <p><広域幹線道路体系の整備> <公共交通ネットワークの維持・強化> <海上交通拠点の整備・活用></p> <p>・広域幹線道路網の骨格となるフェニックス大橋・左岸バイパスが開通。市道越路631号、越路原バイパスを整備するとともに、与板地域において自転車歩行者道路、まちなか散策路・駐車場を整備するなど、広域、市内、地域内の道路整備を進めています。</p> <p>・利用者の減少が進む中においても、路線バスや地域のコミュニティバス等の運行を支援し、公共交通ネットワークの維持・強化を図りました。</p> <p>・JR長岡駅に大手口地下自転車駐車を整備したほか、バス待合所やパークアンドライド用駐車場及びバス位置情報配信システムの整備など、公共交通の利便性の向上を図りました。</p> <p>・寺泊観光協会が中心に行った季節ごとの定期イベントの定着などにより、年平均の観光客が254万人(平成17～21年度)から、283万人(平成23～25年度)へと、29万人増加しました。</p> <p><上水道の整備・安定供給> <快適な暮らしを保つ下水道の整備> <身近な生活道路の整備></p> <p><公園・緑地の整備・活用> <河川環境の整備・保全> <斎場・墓園の整備></p> <p><環境にやさしい都市基盤></p> <p>・市が単独で進める施設整備については、概ね計画通りに進んでいます。</p>
---------	--

<p>これまでの成果</p>	<p><長岡の顔となる中心市街地の再生><地域資源を活かした景観の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地では、市役所機能の分散配置と都市機能の更新及び再集積に取り組んだことで、市民活動やイベント、学習の場、文化事業等が幅広く展開され、その結果、来街者が増加(平成22年と平成26年の比較では、平日の歩行者通行は21%増加、休日は1.5倍に増加)し、中心市街地はまちの「ハレの場」、長岡の「顔」としての機能が定着しました。 ・和島崎地区街なみ環境整備事業、とちお「謙信の里」づくり整備事業など、歴史街並み整備事業を実施しました。また本年度より景観法に基づく景観行政団体に移行しました。
<p>今後の方向性</p>	<p>(人口減少・高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体で人口の減少が予想されます。減少する時期や人口の割合、予想される年齢構造等については、それぞれの地域で特性があるため、これらを踏まえた上で、中心市街地と支所地域が連携し、持続的なまちづくりのあり方を検討していく必要があります。 <p>(災害・インフラ老朽化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、上下水道、克雪施設、河川、公園、斎場等の維持管理を適切に行い持続可能な体制づくりを進める必要があります。また、都市構造の推移を踏まえ、適切な整備水準を検討することも必要です。 <p>(環境・情報・技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の魅力や利便性をさらに高めていくため、中心市街地においては、「まちなか型公共サービス」の導入をさらに展開し、新たな機能導入や官民協働の取組みによるさらなる機能強化を目指す必要があります。 ・国では郊外化を抑制、中心市街地や集落中心の活気と機能の維持を図る「コンパクト化」を基本的な政策としています。これを踏まえつつ、長岡市や各地区の実状を反映したまちづくりのあり方を検討します。 ・さらに、これら複数の多様な地域間が相互に連携を図れるよう、「道路ネットワーク」の強化により、人・モノ・情報の交流を通じ、高次の都市機能を維持する必要があります。 ・消費者問題の被害を未然防止するためには、各世代に応じた消費者教育を進めていく必要があります。特にスマートフォンの普及に伴い、インターネット関連のトラブルが増加する中、低年齢化するインターネット利用者に対する啓発に力を入れていきます。

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
1	市民が安全に安心して暮らせるまち	災害に強いまちづくりの推進	住宅・建築物の耐震化率を高める(%)	64.9	75.0	68.1	31%	C
			河川の改修率を高める【整備計画が策定された猿橋川水系普通河川の改修率】(%)	33.0	100.0	64.4	46%	C
			市立小・中・養護学校の校舎・屋内運動場の耐震化率を高める(再掲)(%)	77.0	100.0	94.5	76%	A
		災害情報の収集・伝達体制の整備	土砂災害ハザードマップを作成する地区を増やす。(地区)	9	128	58	41%	C
		市民防災力・地域防災力の強化	自主防災会の結成率を高める【自主防災会の構成世帯数の割合】(%)	88.6	100.0	92.0	29%	D
			地域の防災リーダーを育成する【中越市民防災安全士の数】(人)	201	500	432	77%	A
		消防・救急対策の推進	救急救命士を増やす【救命救急士の有資格者数】(人)	58	73	68	66%	B
			救命率向上のため、市民に応急手当の知識を普及させる【応急手当講習参加者数】(人)	13,218	14,500	14,789	122%	AA
防犯・交通安全対策、消費者保護支援の推進・強化	市内における交通事故件数を減らす(件)	1,128	1,010	686	374%	AA		
	消費者トラブル件数を減らす【長岡市立消費生活センター受付件数】(件)	2,319	2,100	2,097	101%	AA		
2	活力を創出する交流基盤の充実したまち	広域幹線道路体系の整備	自動車交通網の充実による地域連携強化を図る【長岡都市圏内(地域)に30分以内で到達できる地域数】	8	11	10	66%	B
			信濃川橋りょう部における走行速度を向上する【信濃川橋りょう(与板橋～越路橋)の通勤時間帯における走行速度の平均値】(km/h)	26.9	32.3	31.1	77%	A
		公共交通ネットワークの維持・強化	公共交通利用者数を維持する【長岡地域のバス利用者数】(人/日)	18,500	18,500	16,500	-	E
			公共交通の利便性向上を図る【公共交通機関に満足している市民の割合】(%)	38.0	43.0	39.6	32%	C
		海上交通拠点の整備・活用	自動車を運転しない市民の生活交通を維持・確保する【公共交通の運行サービスが受けられる市民の割合】(%)	92.0	94.0	92.0	0%	D
			寺泊地域の観光客数を増やす。(千人)	2,359	2,700	2,827	178%	AA
3	誰にでも優しく快適な住環境が整備されたまち	上水道の整備・安定供給	老朽化した水道管の入れ替えを推進し、漏水件数を減らす(件)	340	240	269	71%	A
		快適な暮らしを保つ下水道の整備	汚水処理人口普及率を高める【総人口に対する整備済区域人口の割合】(%)	95.8	97.9	96.8	47%	C
			下水道(雨水)の整備率を高める【整備計画面積に対する整備済面積の割合】(%)	42.2	45.4	42.9	22%	D
		身近な生活道路の整備	安全で快適な生活道路の整備を推進する【市道延長に対する整備済延長の割合】(%)	65.8	67.0	66.9	91%	A
			歩道のバリアフリー化を推進する(km)	32.7	55.1	47	63%	B
		良好な住宅・宅地の共有	長期優良住宅の認定申請件数を増加する(戸)	128	140	219	758%	AA
			住宅・建築物の耐震化率を高める。(再掲)(%)	64.9	75.0	68.1	31%	C
		公園・緑地の整備・活用	1人当たりの都市公園面積を増やす。【都市計画区域内人口1人当たり都市公園面積】(㎡/人)	16.2	22.0	23.5	125%	AA
			1人当たりの都市公園面積を増やす【都市公園面積】(ha)	約395	約535	約571		
			緑化ボランティア団体数を増やす【公園・街路・花壇用花苗支給団体数】(団体)	454	550	514	62%	B

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
3	誰にでも優しく 快適な住環境が 整備されたまち	克雪・利雪対策の推進	道路除雪に対する苦情件数を減らす【除雪出動1回当たりの苦情件数】(件/回)	16.8	8.4	12	57%	B
			通学路を中心に歩道の機械除雪・消融雪延長を伸ばす(km)	434	477	463	67%	B
		河川環境の整備・保全	河川の改修率を高める【整備計画が策定された猿橋川推計普通河川の改修率】(%) (再掲)	33.0	100.0	64.4	46%	C
			準用河川の改修率を高める(%)	56.2	65.0	63.3	80.0%	A
		斎場・墓園の整備	斎場の稼働能力を維持する【火葬炉数の合計】(基)	17	17	17	100%	AA
		環境にやさしい 都市の基盤整備	公共交通利用者数を維持する【長岡地域のバス利用者数】(人/日) (再掲)	18,500	18,500	16,500	-	E
交通部門からの温室効果ガス排出量(CO ₂ 量)を減らす【一斉ノーマイカーデー参加者数】(人)	6,683		10,000	6,513	-	E		
4	個性と魅力ある 都市空間を持つ まち	長岡の顔となる中心市街地の再生	まちへ「来る人」を増やす【中心市街地の休日歩行者通行量】(人/日)	39,774	75,000	58,754	53%	B
			まちに「住む人」を増やす【中心市街地の居住人口】(人)	6,689	7,450	6,868	23%	D
			まちで「働く人」を増やす【中心市街地の従業員数】(人)	14,811	15,370	12,989	-	E
		地域資源を活かした景観の形成	都市景観協定数を増やす(地区)	2	4	2	0%	D
AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他								

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	第4章 環境にやさしく、 豊かな自然と調和するまちの実現	担当課	政策企画課/環境政策課/環境施設課/環境業務課/農林整備課/交通政策課
----	------------------------------------	-----	-------------------------------------

政策の概要	本市の豊かな自然環境を保全し、良好な環境を将来世代へ継承するため、資源循環型のまちづくりによる持続可能な都市の構築が不可欠です。このため、ごみの減量とリサイクル、省エネルギーなどを推進し、現代のライフスタイルや事業活動による環境負荷を軽減します。さらに自然環境の保全・再生を進め、豊かな自然と市民生活が調和するまちづくりを推進します。
-------	---

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	方向性評価							
	AA	A	B	C	D	E	F	
環境にやさしい循環型のまち	3	2	1	1	1	2	0	
身近な自然を守り育てるまち	3	0	0	1	0	0	1	
合計	集計	6	2	1	2	1	2	1
	構成比	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%
AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他								

これまでの成果	<p><環境負荷が軽減されたまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみバイオガス発電センターの整備効果が、リサイクル率の向上や焼却量・埋立量の削減、見学者の増加などに現れています。また、省エネルギー・新エネルギー設備の導入支援により、一般家庭や事業所において、太陽光発電システムの設置台数も大幅に増加しています。 <p>ごみの焼却量の減少:平成21年度 69,400トン → 平成25年度 51,941トン ごみの埋立量の減少:平成22年度 12,200㎡ → 平成25年度 9,142㎡ 廃棄物処理施設への見学者数の増大:平成21年度 2,840人 → 平成25年度 3,963人 資源物回収量の増加:平成25年度の対前年比 プラ容器1割増、古着類6割増 東北電力長岡営業所管内の太陽光発電システム設置台数:平成22年度 512台 → 平成26年度 1,010台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉ノーマイカーデーを毎年実施し、環境保全への意識啓発に取り組んでいます。毎年約100団体、延べ6,000～7,000人の市民が環境保全に参加しています。 <p><自然環境の保全と開発の調和></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内河川及び海域の水質状況は、水質汚濁の代表的指標BODについて、すべての地点で環境基準を達成しました。 ・平成23年より寺泊夏戸でトキの分散飼育を開始し、平成26年9月26日に長岡生まれのトキ2羽が佐渡で自然放鳥されました。平成27年2月末現在、飼育数は17羽となり、トキの安定的存続に貢献しています。また、トキの分散飼育を契機に開設された「トキと自然の学習館」では、自然環境教育の拠点として、人と自然の共生について啓発を図っています。 ・新潟県立動物愛護センターを誘致し、ペットなどの適正飼育や動物愛護の普及に努めています。 ・市有地をフィールドとした自然環境との共生に向けた取り組みを実施しています。 ・緑の募金等を原資として活用し、市民による憩いの里山づくりを進めています。
---------	---

今後の方向性	<p>(災害・インフラ老朽化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー環境の変化に対応し、原子力や化石燃料に依存しすぎない電源や熱源の確保が必要となります。 <p>(環境・情報・技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減にあたっては、省エネルギーの推進、新エネルギーの利用などを通じて、長期的には自動車に過度に依存しない都市構造への転換、中短期的には化石燃料に依存しない電源・熱源等の確保や廃棄物処理に関わる温室効果ガスの削減などが求められます。これらの取り組みを、地域の強靱化や技術革新等の視点を取り込みながら、進めていきます。 ・自然環境や生物多様性の確保については、農林水産関係団体業などとの連携を図り、里山環境の保全・活用を進めていきます。 <p>(国内外の都市間競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の調査では、移住希望者の移住理由のうち「スローライフを実現したいから」「食べ物や水、空気が美味しいから」が上位にあり、都市の競争力の向上の観点からも自然環境の保全が重要となります。
--------	---

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
1	環境にやさしい循環型のまち	循環型のまちづくりに対する意識の醸成	環境をテーマとした環境学習の機会を増やす。【環境セナー、市民講座、環境探検隊、出前講座などの開催数】(回)	8	18	7	—	E
			環境に関心を持つ機会を増やし、学習活動を行う人を増やす。【廃棄物処理施設への見学者数】(人)	2,840	3,500	3,963	170%	AA
		環境保全への市民参画の推進	地域の環境美化活動を活発化する。【一斉クリーン作戦地域独自の美化活動の実施回数】(回)	1,532	1,890	1,652	34%	C
			交通部門からの温室効果ガス排出量(CO2量)を減らす【一斉ノーマイカーデー参加者数】(人)	6,683	10,000	6,513	—	E
		環境負荷が軽減されたまちづくり	市民1人当りのごみの排出量を減らす。【ごみ資源物の1日1人当りの排出量】(g)	967	900	918	73%	A
			廃棄物のうち再資源化される割合(リサイクル率)を高める。(%)	24.2	30.0	25.3	19%	D
			ごみ焼却処理量を減らす。(トン)	69,400	44,900	51,941	71%	A
			効率的なごみ処理を行い、最終埋立量を減らす。【ごみ埋立量】(㎡)	12,200	9,600	9,142	118%	AA
			クリーンなエネルギーの利用を促進する。【天然ガス自動車登録台数】(台)	112	150	136	63%	B
			クリーンなエネルギーの利用を促進する。【東北電力榊長岡営業所管内の太陽光発電システム設置台数】(台)	512	700	1,010	265%	AA
2	身近な自然を守り育てるまち	自然環境の保全と開発の調和	貴重な動植物の生息状況を把握する。【保護動植物の生息分布地の調査地点】(地点)	0	5	—	—	F
			河川(海域)を水質環境基準に適合させ、汚染を防止する。【市内河川(海域)環境基準点における環境基準(BOD又はCOD)の適合率】(%)	100.0	100.0	100.0	100%	AA
			大気の状態を大気環境基準に適合させ、汚染を防止する。【大気測定局における環境基準(NO2)の適合率】(%)	100.0	100.0	100.0	100%	AA
			地下水位及び地盤沈下の状況を的確に把握する。【地下水位等観測井の設置数】(か所)	18.0	20.0	20.0	100%	AA
		田園・里山環境の保全・活用	多面的機能の確保に向けた森林の整備・保全を推進する。【住民参加型里山整備の取り組み数】(地区)	3	8	5	40%	C

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

長岡市総合計画 後期基本計画 政策評価シート

政策	第5章 地域経済が元気で、働きやすいまちの実現	担当課	商業振興課/工業振興課/産業立地課/観光企画課/まつり振興課/農政課/農林整備課/道路管理課/地域建設課
----	----------------------------	-----	--

政策の概要	長岡市は品質の高い農作物や水産物の産地であり、幅広い分野で構成され先端技術の集積した「ものづくりのまち」でもあります。産業を活性化するために高付加価値化及びブランド形成を進め、競争力の強化を図ります。また商店街づくりや広域観光、新たなサービス産業などの振興を支援、人材育成や働きやすい環境の整備により、地域経済に元気があり、人々がいきいきと働けるまちづくり推進します。
-------	--

政策を構成する「施策の柱」の状況								
施策の柱	方向性評価							
	AA	A	B	C	D	E	F	
強い農林水産業と魅力ある農村のあるまち	1	0	0	2	1	1	1	
活気あふれる商業と新たなサービス産業をはぐむまち	0	0	0	0	0	1	1	
高品質・高付加価値を生み出す産業のまち	1	1	0	0	0	2	0	
”ながおか”らしさを感じる観光のまち	1	0	0	0	0	1	0	
すぐれた人材、魅力的な仕事、安心して働ける環境のあるまち	0	0	0	0	0	2	0	
合計	集計	3	1	0	2	1	7	2
	構成比	18.8%	6.2%	0.0%	12.5%	6.2%	43.8%	12.5%

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他

これまでの成果	<p><競争力のある農林水産業の振興><経営体・担い手の確保・育成><農村環境・景観の整備・維持> ・国の厳しい財政状況や燃料費、肥料費の高騰を受け、目標よりも緩やかな伸びにはなるものの、経営の効率化や農業生産基盤の整備が進んでいます。 ・都市と農村の交流を促進しており、教育体験旅行者農家民泊受入れ軒数も平成22年の60軒から現在は155軒へと大幅に増加し、学校との信頼関係も生まれています。 ・海外へ向けて錦鯉を積極的にPRするため、平成23年度から外国大使館へ錦鯉の贈呈や山古志地域へ大使の招聘を行っています。これまでエジプト、サウジアラビア、カナダ、アルメニア大使館へ錦鯉を贈呈、同大使の長岡への招聘を行いました。また外国人バイヤーや愛好家との交流を促進しています。</p> <p><中心商店街の再生と地域商店街の活性化> ・若手商店主を中心とした中心商店街活性化組織の立ち上げや、地域に根差した商店街づくりを支援しています。</p> <p><地域産業の振興と「ものづくり人材」の育成><地域特性を生かした新産業の創出> <産学官連携の推進> ・フロンティアチャレンジ事業の助成で開発した製品数が年平均14.7件となり、企業の主力事業まで成長するなど大きな成果を挙げました。ものづくり人材の育成強化事業では、2か年で市内外企業の27名が「長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクール」を受講し、市内企業の人材育成、生産性向上に寄与しました。 ・ビジネスマッチングによる販路開拓等の支援を行うことにより、ながおか新産業創造センターに入居の起業家3社が事業拡大に伴い退室等を行いました。 ・市内企業と学術機関の共同研究により、新技術、新製品の開発に結び付けました。</p> <p><地域資源等を活用した観光の振興> ・長岡まつりや様々なイベントが定着し、観光入込み客数は平成23～25年の平均値で年818万人となり、平成17～21年度平均に比べ100万人以上増加しました。</p> <p><人材育成・コーディネート推進> ・管内企業からの新規高等学校卒業者への求人を高めるよう取り組んでいます。</p>
---------	--

<p>今後の方向性</p>	<p>(人口減少・高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢社会に入り、農林水産業においては担い手の減少や高齢化、商業・サービス業においては、地域内の顧客減への対応が必要です。 ・農林水産業の担い手が減少、高齢化してきたことを踏まえ、生産性の向上と多様な担い手の確保の両面から対応を図ります。また、地域の内外に人材やマーケットを求めつつ、農業起業や6次産業化、観光との連携などを推進し長岡ブランドを確立します。 <p>(国内外の都市間競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外をマーケットとした広域的な集客や既存顧客の深堀など、地域の顧客減に対応した商業・サービス、商店街の取り組みを支援します。 ・ものづくり産業や3大学1高専が立地している本市の特徴を生かし、景気動向、リスク分散の動き、成長産業分野など、最新の状況を踏まえつつ、誘致や産学金官連携による新産業の創出を行う必要があります。 ・市内企業が国内外での厳しい競争に打ち勝ち成長していくため、企業によるものづくり現場改善や受注活動、海外ビジネス展開などへの支援をより一層強化する必要があります。 ・「長岡開府400年」を控えており、歴史・文化を始めとした長岡の個性の再確認とその国内外への発信する機会とします。 <p>・人口の定着を図る上で、地元での雇用の場の確保は大きなテーマであり、働き場の場づくりとともにその周知や魅力向上等にも取り組む必要があります。例えば、内閣官房の調査「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」では、移住する上での不安・懸念点として、「働き口が見つからないこと」が第一に挙げられています。</p>
---------------	---

「施策の柱」を構成する主要施策の状況

施策の柱		基本施策の名称	目標指標等	基準値	目標値	最新値	達成率	達成度
1	強い農林水産業と魅力ある農村のあるまち	競争力のある農林水産業の振興	市内主業農家の総収入額を維持する。(百万円)	9,528	10,000	7,971	-	E
			米の生産コスト低減を図る。【10a当りの生産費を20%低減】(円)	121,534	97,227	111,100	43%	C
			優良農地を確保する【農業生産基盤の整備率(ほ場整備率)】(%)	58	75	61	18%	D
		経営体・担い手の確保・育成	効率的かつ安定的な農業経営体を育成する。【農産物販売額が1,000万円を超える経営体数】(経営体)	281	300	-	2015年調査予定	F
			担い手への農地集約を促進する。【経営耕地面積に対する認定農業者などの耕地面積の割合】(%)	52.3	60.0	55.2	38%	C
農村環境・景観の整備・維持	都市農村交流を促進する。【教育体験旅行者農家民泊受入れ軒数】(軒)	60	85	155	380%	AA		
2	活気あふれる商業と新たなサービス産業をはぐくむまち	中心商店街の再生と地域商店街の活性化	JR長岡駅周辺地区の中心商店街(商店)を月1回以上利用する市民の割合を高める。(%)	60.3	65.0	56.9	-	E
		商業・サービス産業の振興	小売・卸売業の年間商品販売額を増やす。(億円)	9,582	9,700	-	平成27年度調査予定	F
3	高品質・高付加価値を生み出す産業のまち	地域産業の振興と「ものづくり人材」の育成	フロンティアチャレンジ補助金採択事業の製品化件数を増やす。(年平均件数)	- (12)	60 (12) 平均	44 (14.7) 平均	増加率 123% ※平均値比較	AA
		地域特性を生かした新産業の創出	ながおか新産業創造センターから育ち、新たに事業展開するベンチャー企業数を増やす。(年平均企業数)	- (0.75)	5 (1) 平均	1 (0.33) 平均	-	E
		産学官連携の推進	市内3大学1高専と市内企業による産学共同研究件数を増やす。(年平均件数)	- (29)	180 (36)	58 (19.3)	-	E
		企業立地の推進	公設工業団地の分譲を促進する。(分譲率)	96.1	98.5	97.8	71%	A
4	"ながおか"らしさを感じる観光のまち	地域資源等を活用した観光の振興	観光客の年間入込み客数を増やす。(万人)	712.4	725	818	838%	AA
		観光客受入れ体制の強化	観光ボランティアガイドの利用者数を増やす。(人)	15,584	16,000	14,666	-	E
5	すぐれた人材、魅力的な仕事、安心して働ける環境のあるまち	人材育成・コーディネートの推進	新規高等学校卒業者における、管内企業からの求人の充足率(就職数/求人数)を高める。(%)	64.6	65.0	63.7	-	E
		誰もが安心して働ける環境の整備	長岡市障害者多数雇用事業者名簿の登録事業者数を増やす。(社)	8	16	6	-	E

AA:100%以上 A:70%以上～100%未満 B:50%以上～70%未満 C:30%以上～50%未満 D:30%未満 E:基準値を下回るもの F:その他